

# ぎやらりーわ

NO. 62

2013年4月号



●花の村内散歩 ミズバショウ (木村成男撮影)

編集・発行 NPO法人グループわ (西田圭一) ホームページ <http://www.wa-net.jp>  
〒651-1102 神戸市北区しあわせの村シルバーカレッジ内 TEL078-743-8101 FAX743-3830



しあわせの村の春満開(3月30日)。カレッジ西の里山では巣箱の清掃(3月6日) 〓南形徹・木村成男撮影

## カレッジの春始動

春始動。しあわせの村の桜も5分咲き。暖かな日差し芝生広場からは子供たちの歓声が聞こえます。3月6日には、野鳥と自然観察会(代表：茅中英一)の13人が、村内の巣箱を総点検しました。子育てを始めるシジュウカラやヤマガラたちが、気持ちよく巣箱を利用できるよう、羽毛やフンの除去をするためです。巣箱はカレッジ西側の里山など7か所に47箱設置されています。「鎮守の森では、すでにシジュウカラのねぐら作りが始まった」と、メンバーは嬉しそうです。(広報・井口久美子)



ボランティアの輪をひろげよう

62号の内容

### 東北支援活動に大臣感謝状

2面

東北へ第4次チーム派遣 2面  
25年度功労表彰者決まる 4面  
ボランティアの心 6面  
カレッジで卒業式・入学式 9面

カレッジ20周年行事 3面  
ボランティア最前線 5面  
連載 花実の森⑤ 8面  
神戸文化ホール割引券 12面

5月17日に

「わ」の総会



# 東北支援活動に大臣感謝状 3次にわたる支援チーム派遣を評価

グループ〈わ〉が23年3月から取り組んでいる東日本大震災の支援活動に対し、3月11日付けで田村憲久厚労大臣から感謝状が授与されました。4月8日、神戸市役所で伝達式があり塚沢・南形徹理事が出席しました。

受賞理由は、①3次にわたって東北被災地に支援チームを派遣し、仮設住宅や小学校、保育園、児童館などでお年寄りや子供たちに寄り添い、元気づけたこと②女川第一小学校の児童ら23人を神戸に招待したこと③支援チームの体験報告会を開いて募金を集め、子供たちにクリスマスプレゼントを続けていること、などが認められたものです。

大臣感謝状は〈東日本大震災において障害者、高齢者、児童等に対し、身体的、精神的な生活環境改善のための人的または物的な支援等を行った団体〉で、厚労省局長らで構成する選考委員会の審査をクリアしたものに授与されます。今年1月

にシルバーカレッジを通じて打診があり、西田圭一理事長名で申請しました。

全国で行われている東北支援活動に対し大臣感謝状が授与されるのは今回が初めてで、兵庫県で23団体、全国では1458団体が受賞しました。グループ〈わ〉は23年4月、東北支援プロジェクトチームを発足させ幅広い活動を続けています。チームは芦田義和・海野龍英・南形徹の3理事を中心に運営。〈わ〉会員・現役にも委員を委嘱し、〈わ〉本部がバックアップしています。

松島秀明カレッジ事務局長の話「オールKSCでやってきた数々の東北支援活動が国に認められて良かった。被災地の復興はまだまだです。受賞を励みに、これからも息の長い支援を継続してほしい」写真=受賞を喜ぶ〈わ〉のスタッフ

## 福祉振興協会も受賞

市民福祉振興協会（しあわせの村）も23年3月から村内を中心に募金活動を展開。約3千万円を集めて支援物資を購入し、募集した応援メッセージと共に現地に届けたことなどが評価され、受賞しました。



## 第4次支援チーム 7月初め女川町へ 仙台・豊齢学園と協働で

グループ〈わ〉は、この7月に東北へ第4次支援チームを派遣しようと準備を急いでいます。今回は豊齢ネットワーク（仙台）と初めて協働で活動するほか、振興協会チームとも合同公演を行います。

日程は7月1日（月）～5日（金）の5日間。①仙台の七夕飾り講習会②軽スポーツのディスコン大会③手作り料理交歓会などを予定しています。訪問先は女川町の仮設住宅・同町体育館・仙台市六郷小学校・六郷児童館など。七夕飾り講習会とディスコン大会は豊齢側から提案があったもので、コーチ役も豊齢側が務めます。メンバーはKSCから6人程度。豊齢から

10人程度。別に振興協会も5、6人の音楽チームを派遣する予定です。今回は公的助成金のメドがつかず（3月末現在）、KSCチームは小規模となります。活動計画は来月中をメドに最終決定します。

【活動内容】 1日目の午後はディスコンの研修。ディスコンは15cm大の軽い円盤を投げ合うスポーツで、仙台周辺では盛んに行われているそうです。2日目は女川町の清水・新田の両仮設住宅で被災者の皆さんと仙台七夕のミニ飾りを作ります。3日目は女川町の体育館でディスコン大会。町民の皆さんが多数参加できるような方法で実施します。

4日目は2班に分かれ、A班は女川町の浦宿仮設住宅で料理作りの交歓会。神戸と仙台の自慢料理で交歓会をします。B班は仙台・六郷小と六郷児童館で振興協会チームと昔遊び・音楽などの合同公演。5日目は豊齢学園を訪問、今後の活動の打ち合わせーとなっています。（東北支援プロジェクト）

# 桜の植樹や記念碑・震災シンポ

## 20周年記念プラン

シルバーカレッジは、この10月に創立20周年を迎えます。25年1月から記念行事実行委員会が定期的に開かれ、記念植樹や記念碑建立、震災シンポジウム、コンサートなど、さまざまなプランが進められています。委員会の中山マネージャーに3月末現在で具体化している内容を聞きました。

【日程】10月9日(水)～10日(木)で、12日(土)の学園祭につなげ、記念ムードを高めます。

【式典】9日午前、カレッジホールで。20周年を祝って今井鎮雄学長の挨拶・市長の祝辞・新野幸次郎振興協会長の講演「これからのKSC展望」(仮称)。

【震災ボランティアを考えるシンポ】9日午後、カレッジホール。グループ〈わ〉が主催。阪神・淡路から東日本大震災まで、KSCはどういうボラ

ンティアをしてきたか。宮城や外部団体からのゲストも交え、映像や体験報告を通して考えます。会場では、パネル写真展や東北物産も販売します。

【コンサート】10日午後、カレッジホールで。出演は和太鼓松村組の予定。

【記念碑】「再び学んで 他のために」の校是を、高さ0.7m、幅1.7mの御影石に刻んで玄関西斜面に建立します。揮毫は今井学長に交渉中。

【記念植樹】桜の木約20本を記念碑を建てる付近と東側の駐車場に植える。苗木は1本約3万円。サークルや区会、個人の寄付でまかなう予定です。

【20周年記念誌】座談会・エッセー・寄稿などでカレッジ20年を振り返る内容です。約60ページ、3000部発行。

【ジョイラックデー】【学園祭】20周年にふさわしい行事を策定中です。(広報・井口久美子)

## 被災地ボラを考える講演会

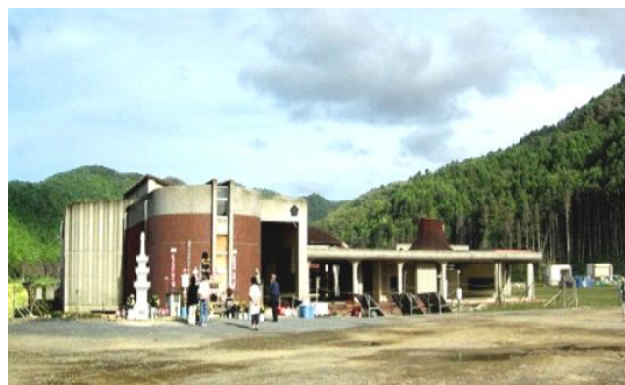
被災地のニーズにかなうボランティアとは――神戸市社会福祉協議会主催の「災害ボランティア講演会」が3月17日、中央区のあすてっぷKOBEで開かれ約50人が参加しました。最初にグループ〈わ〉の南形徹理事がビデオ映像を使って2年間にわたる支援活動について報告した後、コープこうべの鮎沢氏からも事例発表がありました。次いで乗原英文氏(JPcom代表)が「宮城の今とこれから」と題して基調講演。ハード面だけでなく、見守り・寄り添い・支援者のためのリフレッシュツアーなどの大切さを訴えました。

パネルディスカッションでは〈わ〉の西田理事長、コープの鮎沢氏、乗原氏が、これからの被災地ボランティアについて体験、提案を交えて意見交換。

〔直接支援する一される〕関係から、自立を促す支援に切り替えて息の長いボランティアを続けよう、と誓い合って2時間の討論を締めくくりました。

## 東北の味楽しむボランティア

「旅を楽しんで東北支援になるなら」と、生環14期のグループ学習「もやい」のメンバー6人が昨秋、観光ボランティアに出かけました。伊丹(空路)―仙台―蔵王―平泉―鳴子温泉―松島―石巻―仙台―伊丹のコースで、9月24日から3泊4日の日程。足はレンタカー2台。酒や温泉に眼のないメンバーなので、まずは温泉めぐりや名物料理探訪、酒蔵見学。鮮度



のいい魚介と地酒を楽しみました。「お土産もどっさり買い込んだので、少しはお役にたったかな」。

4日目に津波被害のひどかった松島、石巻を走り、大川小へ。校舎の骨組みだけが残り、学用品の破片が散乱する荒涼とした風景にメンバーは茫然。「思わず涙があふれ、言葉も出なかった」といいます。途中で仕入れたお花を献花台に供え、悲しみをこらえて合掌。悲惨な廃墟を後にしました。

リーダーの山本一夫さんは「被災地を走って大津波の傷跡を体感し、阪神大震災とは比較にならない被害の大きさを知った。いつになったら普通の生活に戻るのだろう」と話していました。=写真は校舎の残骸が残る大川小で献花(もやい提供)

## サポート募金のご報告

(12月26日～3月31日分・敬称略)

環境未来館4千円、黒田宏(国6)3千円、匿名500円、西隈勝利(ビトプ)5千円、青木千恵子(国14)5500円、小島光子(生15)3千円、遊志の会(食16)1万円

# 功労賞 4人・4団体決まる

グループ〈わ〉の25年度功労賞は、4月2日の理事会で、別表のとおり個人4人団体4グループに決まりました。5月17日の〈わ〉の総会で表彰式が行われます。

## 【功労会員】

- ・福原克巳（福1）＝障害児の園外保育支援
- ・澤田京子（福7）＝銭太鼓指導者として13年
- ・富永征児（園7）＝幼稚園での畑・菜園指導
- ・井上 堅（福8）＝高齢者施設の合唱訪問
- ・【功労グループ】
- ・滝谷Gホーム＝障害者の夜間見守り10年
- ・銀の匙＝子どもや高齢者への食育支援
- ・野鳥と自然観察会＝野鳥の観察と保護活動
- ・里山和楽会＝里山林の整備再生活動6年

## 食育支援や里山整備

区会・部会・個人から推薦のあった会員4人・団体4グループを対象に、3月15日の運営委員会で投票。活動歴や活動内容の審査を経て、4月2日の理事会で正式に決まったものです。有権者は、理事・区会長・部会長ら計31人で、うち病欠・棄権は3人。連記制で28人が投票しました。

22年度から始まった表彰制度も4回目。今回から表彰される会員・団体に数の制限を設けない、と規定を改めたため、推薦のあった個人4・団体4を個別に審査。「いずれも範となるボランティア活動を長年続けている」という理由で、申請のあった個人・団体すべてを認めることになりました。

## 【表彰会員・団体の活動内容】（敬称略・申請順）

▼福原克巳（福1）＝庭瀬正一推薦＝H12年、垂水区にある障害児施設で「散歩ボランティアグループ」を立ち上げ、12年半に亘って支援を継続。後輩たちの育成指導にも力を注いできた。施設側の職員、児童、父母からの信頼は今も絶大。特に児童に与える安心感は素晴らしく、グループの範となっている。

▼澤田京子（福7）＝重松豊彦推薦＝KSC在学中に銭太鼓の「楽遊クラブ」を、卒業後は「楽遊クラブ銀雅」を立ち上げ、指導者として活躍中。小学校、児童館、高齢者施設を訪問し、発表会や地域イベントにも出演するなど、伝統文化である銭太鼓の啓蒙・普及に力を注いでいる。

▼富永征児（園7）＝長谷川博推薦＝区会活動である幼稚園での菜園・畑づくりのリーダーとして12年。園児と一緒に畝を作り、じゃが芋、さつまいも、玉ねぎ、大根などの植え付け、収穫を通して食育支援を行っている。高齢者施設でも同様の支援を行っており、園児、父母、入所者に大変喜ばれている。

▼井上堅（福8）＝寄藤忠彦推薦＝「混声合唱団コーロKSC」のリーダーとして、高齢者施設を中心に演奏活動を9年。児童館での手話コーラスにも力を注いでおり、福祉施設などへ友愛訪問活動を行っている。選曲などを工夫したプログラムを提供し、施設では心待ちにされている。

▼滝谷Gホーム（代表・堀内昭、在籍12人）＝加藤勇治推薦＝男性5人が暮らすグループホームの夜間見守り。月曜～水曜は20時半～翌朝8時半、土曜は、17時～翌朝8時半までの週4回。ホーム世話人の不在時の応援であるが、単なる見守りではなく、入居者が安心して生活を送れるような支援を心がけている。

▼銀の匙（代表・辻郁子、在籍29人）＝菅田忠志推薦＝食文化での学びを生かして、子どもたちと一緒に、豆腐やジャム作りを楽しむほか、シルバー世代を対象とした食育講座などを開催。神出自然教育園、環境未来館、児童館・地域人材支援センター等にて、年間60回以上活動している。

▼野鳥と自然観察会（代表・茅中英一、在籍63人）＝菅田忠志推薦＝グループ設立10年。野鳥と人との共生を願って、野鳥の観察から保護活動（巣箱・植樹）へと活動を広げている。しあわせの村での探鳥会開催、バードウォッチングガイドの作成、ヒナへの足環装着など多彩な活動を行っている。

▼里山和楽会（代表・道満俊徳、在籍20人）＝土井昭政推薦＝KSC在学中のH19年にグループを立ち上げ、5年計画で、放置林であった里山を障害者や児童、地域住民の「癒しの森・憩いの場」として整備した。20年からは、毎年地元の小学3年生と環境体験学習を行っている。

## 〈わ〉の総会 5月17日に 第2部は映画「あなたへ」

グループ〈わ〉の第10回定期総会を5月17日（金）シルバーカレッジホールで開催します。多くの皆さまの出席をお待ちしています。

午前10時から総会。功労会員の表彰式があり、昼食をはさんで、午後1時から映画「あなたへ」（2012年・高倉健主演）を上映します。妻の死後、「平戸の海に散骨してほしい」と書かれた絵ハガキが届き、夫は妻の故郷へ出かけるが…。

総会資料は「ぎやらりーわ」4月号（62号）に同封しています。出欠のご返事は、昼食の弁当注文の関係で5月6日（月）までをお願いします。



# 障害者と一緒に…歌やゲーム

## ボランティア最前線

福祉部会

明生園もみじ会



参加者とボール遊びをする黒田さん(手前)と多田さん。①キーボードを弾く門脇さん。

「すごい！ホームランや」の声援に、A子さんは笑顔でガッツポーズ。ここは、しあわせの村内にある障害者支援施設「神戸明生園」(定員80)。雨もよの2月15日、「明生園もみじ会」(宮城智子代表・音2)の活動ぶりを取材しました。

じっと座っているのが苦手な人、自閉的傾向の強い人、身体障害を伴っている人…きょうの参加者15人が1階の空きスペースに椅子を並べて待っています。

10時過ぎ、門脇享子さん(福2)、黒田宏さん(国6)、多田ケイ子さん(一般)のスタッフ3人が到着。プログラムの打ち合わせを済ませ、テキパキと準備を進めていきます。

10時30分、歌からスタート。「雪やこんこ」「さっちゃん」に続いてリクエストの「手のひらを太陽に」。雰囲気はほぐれ、声も出るようになります。東北支援の「花は咲く」に合わせて、門脇さんが手品を披露。きれいな花を咲かせた後は、手遊び歌を3曲楽しみました。

続いてビーチボールにプラスチックのバットを使っ

てのボール遊びです。ボール投げで身体をほぐし、1人ずつバッターボックスへ。ピッチャーは黒田さん。「いけ～！もう1回」「ナイス」「ホームランよ」と声援が飛びます。ヒットが出ると、バッターも大はしゃぎです。最後に参加者も職員もスタッフも、全員が手をつないで「今日の日はさようなら」を熱唱。1時間の交流でしたが、心に残るひと時でした。「喜んでもらえましたか」。職員に感想を聞くと、「皆、毎回楽しみにしており、私たちも助かっています」と感謝の言葉が返ってきました。



神戸明生園での活動は月1回、もう15年になりますが、悩みは登録メンバーの減少(現在7人)と高齢化。継続していくには世代交代が欠かせない状況です。グループの発足はH7年。神戸明生園へはH10年から。ここのほか、2施設で活動しています。問い合わせは宮城(078-521-3391)まで。取材を終えて 知的障害者との交流、中でも重度の人々との触れ合いは難しさが伴いますが、気負わず、無理強いせず、あくまで自然体で接する皆さんの姿に感動しました。

(取材 井口久美子・写真 竹富利美)

## ボランティアの心

### 野鳥と人との共生を願って

野鳥たちはCO2を吸収する樹の葉を食べる昆虫を餌として樹を守り、その実を食べてタネをばら撒き、森を広げ、地球温暖化防止面で私達を助けてくれている。

私は小学生の頃、郷里の四国で今は捕獲も飼育も禁止されたメジロを捕獲しその可愛い姿と美しい“さえずり”を楽しんでいた。森の中で“おとり”に誘われてメジロがトリモチに近付くと心臓が高鳴ったことを今でも鮮明に思い出す。

その後多忙で野鳥から遠ざかっていたが、KSC入学後「野鳥と自然観察会」に入会し野鳥との縁が復活。KSCでは先輩達の指導や野鳥図鑑や外部専門家などを通じ野鳥のことを学び直し、少しでも”野鳥の心“に近付くよう努めている。生環のグループ学習時の2005年にしあわせの村で仲間と始めた巣箱と植樹によるささやかな野鳥の保護活動は新

しい仲間も加わり8年経つ。

その巣箱から毎年130-180羽のシジュウカラやヤマガラ等のヒナが巣立つが、翌春までの生存率は10%未満と厳しい。3-6月、親鳥が休むこと



なくヒナに餌を運ぶ姿や外敵に気付かれないようヒナのフンを巣箱から離れた場所へ捨てに行く親鳥の愛情にはいつも感動している。晩秋に行う巣箱の掃除の際に取り出す巣も見事。まるで芸術作品のようだ。昨年からは村内でヒナへの足環装着（外部資格者による）を始めたが、留鳥のシジュウカラだけでなく、渡り鳥のキビタキへも広げ、移動範囲など詳しい生態の解明にも繋げたい。

またトリム園地の植樹18種650本も根を深く張り自立しつつあるので、餌の少ない冬期には野鳥のレストランとなるように願っている。野鳥と人との共生を願って！ 茅中英一（生環11、西区会）

## 10年目を迎える未来館

こうべ環境未来館は24年度もほぼ例年なみの活動を続け、来館者にも好評だ。「くらしとごみ」の学習には毎年、約30校が来館。2000人の小学生がゴミのリサイクルなどを学んでいる。

ビオトープ「未来の泉」と、近くの里山を組み込んだ自然体験学習には、23年度で2校113人、24年度

で5校298人の利用があった。小さな生き物や草木に触れ、体感し、生物の多様性と保全の大切さを考えるとともに、地域の歴史や文化・生活習慣を学んでいる。このほか、小学校の副読本「くらしのエコチェック」による温暖化防止、ごみ、3R、資源化等の啓発を支援しており、70校・3738人の児童が参加した。

未来館は今年で10年目を迎える。契約の関係で「エコチャレンジ」の催しから撤退、メンバーも18人体制となった。開館時の意義を再確認し、地域の人々の支援を得ながら、子どもたちの環境学習の拠点として、新たな出発をしたいと考えている。

（環境未来館：石谷完）

### ♪男声合唱団が台湾遠征♪

男声合唱団（指揮者・小埜直）は3月28日から4月1日まで総勢31人で台湾へ遠征。台南と台北で現地のシルバー合唱団などと親善コンサートを開きました。28日は関空から台湾へ。台南に宿泊。29日は体育館で開かれた歓迎宴に招かれ、小学生や老齢合唱団と交流演奏会。「ふるさと」を一緒に歌い、市長も顔を見せてくれました。30日は女子中学校で2つの合唱団と共演。31日は台北へ移動し、同夜、中山堂（公会堂）で、生け花グループがつくる女声合唱団と交流演奏会をして、散会しました。

メンバーの小畑浩昭さんは「一度は海外で歌いたいという願いがかなった。八田譽一記念館や故宮博物館も見学できた」と嬉しそうでした。

### 神戸国際交流フェアー

神戸国際協力交流センター主催の「国際交流フェアー」が3月16・17日に開かれ国際部会から4人が参加しました。16日は留学生によるスピーチ大会（勤労会館）。アメリカ、カナダ、中国、インドネシアなどの8人が自国文化と日本での異文化体験を発表しました。17日はハーバーランドのスペースシアターでお国自慢のパフォーマンス。模擬店ではマンマコーヒー、インドネシアのシューマイ、フィリピンどんぶりなどが販売され賑わいました。国際部会はパネル展示をしました。尖閣も竹島もない友好的な集まりでした。

（柳川瀬淳一）



# 活動レポート

## 神戸っ子応援団を知ろう

神戸っ子応援団への理解を深めようと1月16日、拡大版「学習支援者の集い」（写真）が開かれました。地域で子供たちの健全な育成を図ろうという「神戸っ子応援団」の制度は23年度に発足。25年度から本格的にスタートします。学習支援委員会でもすでに2回、テーマとして取り上げていま



すが「分かりにくい。支援委員会との関係はどうか」といった声が多く、今回の勉強会になったもの

です。この日は、市教委学習課とこども家庭局青少年課の担当者8人を招いて講演と現状報告、質疑が行われ〈わ〉の参加者50人(支援委員と区会関係者)が熱心に耳を傾けました。

応援団の仕組みは、中学校区ごとに地域を分け、地域コーディネーターが学校(の要望)とボランティアをつなぎ、学校行事や学習支援、伝統文化の継承に取り組むもので、対象は小学生～中学生です。すでに応援団が発足している東灘区と北区の推進委員から活動の現状が紹介されました。

3時間に及んだ勉強会でしたが、市教委側の説明は理念や組織の説明に終始。参加者の疑問・思いと噛み合わなかったようです。特に①現在の学習支援

委員会はどうか。②支援要請は誰からどういうルートでくるのか。③応援団と〈わ〉の関係は?

といった具体的な疑問への回答はなく、市教委側も現状をつかんでいない様子がありました。

〈わ〉としても、もう2、3回は勉強会を開く必要があります。 (広報・南形徹)

●25年度の学習支援委員長は、加藤勇次から西田圭一(生9)に交替します。

## 〈わ〉に4サークルが誕生

4月から〈わ〉の傘下に4つのサークルが誕生。合計61サークルになりました。環境部会に所属する次の2つは17期グループ学習のメンバーが活動を継続しようと結成したものです。

▽チームたんすのこやし(代表・藤本明美 ☎743-1608)は古着をリメイクして再活用するグループ。カレッジ2F階段横に回収ボックスを設置、協力を呼びかけています。環境未来館でリメイク講座も開催する予定。会員5人。

▽ハチドリ(代表・安井敏夫 ☎451-2196)は神戸の川を美しく、をモットーに福田川(垂水区)などでクリーン活動をします。他の愛護団体とも連携し、提案もしていくことです。会員12人。

▽生きがい部会に所属する「東灘ボランティアガイドの会」(代表・宮田幸長 ☎431-1702)は、観光客に東灘区内の浜街道や酒蔵を巡って地域の魅力を再発見してもらおうというもので、ガイドの勉強から始める予定です。会員は9人。

▽福祉部会に所属する「エンジェル支援の会」(代表・辰巳陽子 ☎080-6156-1483)は、手芸品を製作・販売して、世界の恵まれない子供たちを助けようと生環17期の仲間呼びかけて結成しました。会員18人。

## 中学生支援などが課題

グループ〈わ〉の学習支援体制が、すぐに改編を迫られることはありませんが、子どもを対象としたボランティア活動では「神戸っ子応援団」を視野に入れた肌理細かな対応が求められます。

【学習支援委員会】〈わ〉の学習支援案内を校長会経由で全小学校に連絡しているが、26年度からは「応援団」経由に改めた方が実効的です。支援対象には中学校も含まれるので、中学生への支援も検討すべきです。

【本部・区会・部会でのイベント】地域でイベントを実施する際、案内状は関係地域の「応援団」にも出す方がいいでしょう。地域の行事運営に子

供たちを関わらせることも「応援団」の目的の一つですから、子供たちに協力してもらいたい方法かもしれません。

【区会の学校支援】各地域で応援団組織が機能してくると、区会への学校支援要請が増えることが予想されます。区会のメンバーに予めアンケートを実施し、支援項目ごとに支援可能者・支援希望校などを把握しておき、支援要請に即応できる体制づくりが望ましいと思います。

以上が、さしあたって対応すべき課題と考えていますが、今後とも「神戸っ子応援団」の動きを注視しながら学習支援活動に取り組んでいきたいと思っています。

(学習支援委員長 加藤勇治・北区会)



# 育ちゆく 花実の森



⑤

## 里山ガールは楽しい

塩ノ谷年子（生環11期）

在学中、花実の森でお弁当を食べたことがあります。少し踏み込んだ辺りから先は、下草が生い茂り、蜘蛛の巣があって奥には入り込めない雑木林でした。2年前から、花実の森の整備が始まり、仲間に入れて頂いたものの、おばさんに出来る仕事があるのかな？と思いながらの参加でした。

薄暗かった雑木の枝や下草が刈り取られ、太陽の光が差し込み、明るくなっていろんな植物が目覚ましています。今度はどの様な発見があるかしら、と楽しみながら例会を重ねております。

先輩たちが、機器をたくみに操り、不用な木を伐採し、道を作り、切り拓いて行く様は目をみはります。わたしは枯葉を集めたり、小枝を機械にかけてチップを作ったりしています。そのチップ

の山が生き物たちの棲家や堆肥となり、宝の山になるそうです。また、植物や野鳥に詳しい仲間がいて、質問ばかりの私にも、やさしく答えが返ってきます。2時間余りの作業時間は、いつもアツという間に過ぎてしまい、心地よい疲労感が手みやげになるような活動を楽しんでいます。



カレッジの学生たちが受けてきた環境学習の場としてのこの里山も、花実の森として整備されるに伴い、講師の話もより実感を伴って学生たちの関心を強めることになるでしょう。

また今年も、環境学習の場としての受け入れが始まります。子どもたちの歓声が響きわたる光景を思い浮かべながら、これからも作業を続けていきます。

## 24年度〈わ〉の活動の歩み

【4月】カレッジ入学式（11日）。学習支援の集い（13日・ボランティアの皆さんに期待すること）クラブガイド発行（2012年版）。野鳥ガイド改定版発行。東北支援募金。パソコン講座（市立人材支援センター）。バードウォッチング（28日・しあわせの村・ガイド：野鳥と自然観察会）

【5月】わいわいストリート（5日・芝生広場・〈わ〉の5クラブ協力）。第9回定期総会（第3期西田執行部スタート）。功労会員表彰（個人1・団体3）

【6月】新緑の森林浴ウォーキング（4日・大山寺コース）、〈わ〉の会員がボランティア体験発表（13日・地域交流会）



【7月】韓国KBSテレビが取材に。花山小で「伝統文化体験教室」（華道・茶道・着付け・銭太鼓・大正琴）。第3次東北支援チーム派遣（7～13日・女川・石巻・仙台・名取の仮設・児童館へ17名）、キッズFMが取材に。東北支援参加者座談会（25日・出席者8名）。しあわせの村まつり（キッズコーナー担当、28日・芝生広場・

〈わ〉の4クラブ協力＝写真）

【8月】かえっこバザール（5日・カレッジホール）夏休み工作塾（19日・しあわせの村研修館・〈わ〉の7クラブ協力）

【9月】ローンボール大会（2日・しあわせの村）、学習支援の集い（7日・やってみよう特別支援）、ペタンク大会（29日・しあわせの村）

【10月】グランドゴルフ大会（11日・しあわせの村）、地域交流と文化の祭典（20日・カレッジ）、竹の台小「文化体験教室」（華道・茶道・銭太鼓・大正琴）

【11月】第3次東北支援報告会（20日・カレッジ）、東北物産品の販売（20日）、福祉ボランティア大会（20日・カレッジ）、紅葉の森林浴ハイキング（21日・箕面六個山）

【12月】一の谷プラザに植栽（東・北側フェンス）「神戸の未来を担う子ども育て賞」受賞（13日・学習支援委員会）、グループ〈わ〉が「愛の輪賞」受賞（24日）

【1月】家庭内事故防止の講演会（16日・カレッジ）、KSC20周年記念事業第1回実行委員会、学習支援の集い（16日・神戸っ子応援団を知ろう）

【2月】出前講座「エコクッキング」（2日・西区竹の台児童館・おからクッキーをつくらう）

【3月】2年間にわたる東北支援活動に功労大臣感謝状（11日）、災害ボランティア講演会（わ発表）（17日・あすてっぶKOBE）

●「クラブガイド2013年版」を発行します。グループ〈わ〉の本部組織や傘下の62サークル、9区会の活動内を解説。25年度役員名も掲載しています。新会員の勧誘や連絡に利用してください。5月初旬に各部会・区会に配布予定。



## カレッジだより



### 20期生401人が入学

満開の桜に迎えられ、4月5日、第20期生401人の入学式が10時半からカレッジホールで行われました。今井鎮雄学長は「超高齢化時代を迎えて、より良い社会にするためにはどうしたらいいか。皆さんの人生体験と知恵を生かして考えてほしい。



第2の人生を楽しむだけでなく、「再び学んで他のために」の精神をかみしめ、豊かな新しい時代をつくる先駆者になってほしい」と激励のメッセージを贈りました。コース別入学者は健福83人、国際98人、生環60人、美工40人、音文40人、園芸40人、食文40人。

カレッジには、9時半過ぎから晴れやかな笑顔の新入生が続々と登校。新たな学園生活に期待をふくらませていました。入口では、東北支援募金の呼びかけもあり、クラス別に入学記念写真の撮影も行われました。午後からは、各サークルの入部勧誘が一斉にスタート。パネルを見たり、先輩の説明に聞き入ったり。中庭ではフラなどのパフォーマンスも披露され、ロビー周辺は大賑わいでした。

### 第17期生369人が卒業

暖かな日差しに恵まれた3月22日、第17期生の卒業式がカレッジホールで行われました。今井鎮雄学長からは、「この3年間で最も印象深いことは、東北大震災ではないでしょうか。子供たちの動揺する姿を見て、助け合うことの大切さやボランティアの意義を学び、多くの方が行動を起こしました。これからは、人生の先輩として3年間の経験を生かし「再び学んで他のために」の精神で市民として、世界の中の1人として、考え行動してほしい」とはなむけの言葉がありました。卒業証書はクラ

ス代表がホールで受け取り、各教室で卒業生に手渡されました。25年度の卒業生は369人。コース別では健福83人、国際93人、生環64人、美工29人、音文40人、園芸32人、食文28人でした。卒業生からは、物置1棟が記念品として贈呈されました。

### グループ学習の合同発表会

17期生のグループ学習合同発表会が2月28日、カレッジホールで開催され、大勢の先輩、後輩も駆けつけ熱心に耳を傾けていました。午前10時の音文コースから始まり、昼食をはさんで健福コースまで17グループが映像などを使って順次発表しました。ロビーでは28日から3月15日まで、美術専攻生の絵画や陶芸の卒業作品が展示されました。各コースの発表テーマは、次の通りです。

【音文専攻】①和太鼓グループ②パーカッショングループ③合唱（全員）

【生環コース】①衣類と環境（古着の行方）②神戸の川の美しい『みずべ』を守り、創るために③森はすべて<今、森に何が起きているか？>

【食文化専攻】①『漬物』～漬物を見直そう～②歳時記に見る食文化と郷土料理

【国際コース】①世界を変えた6つの飲み物②遥かなるシルクロード紀行③韓国のEnglish Powerは如何にしてなりえたか④神戸の名旅館「西村屋物語」

【園芸専攻】①トウモロコシの栽培におけるアワノメイガの防除②じゃが芋の栽培（芽かき、土寄せの栽培条件が収穫に及ぼす影響について③スイカの栽培（3種類の肥料による収穫に与える影響について

【健福コース】①高齢者の自立生活（生き生きライフ）を支えるユニバーサルデザイン②生涯登山として六甲山を歩いて心身の健康増進に取り組む③アクティビシニアを目指して

### 入学式の日、花実の森で不審火



4月5日午後12時30分ごろ、「カレッジ西の花実の森で煙が出ている」と新入生から通報があり、事務局職員とグループ〈わ〉

のメンバーが駆けつけ、消火器やバケツの水で20分後に消し止め大事には至りませんでした（写真）。消防車も急行、放水しましたが、斜面の枯草など約30㎡が焼けました。出火原因は不明です。

●カレッジ事務局人事 3月31日付【退職】中山喜統（マネージャー）【退任】田川由紀、鎌田靖子（コーディネーター）4月1日付【転入】糸原邦彦（マネージャー）葛尾健司（庶務担当）【新任】金田弘司（国際担当）・中道民広（生環担当）

## WAからのお知らせ



### ふたばパソコン教室は順調

グループ〈わ〉が市立人材支援センター（長田区）で開催している「ふたばパソコン教室」は、2年目を迎え受講者は増えつつあります。24年度の実績は次の通りです。

▽第2回WORD講座 4月～5月で計5回、受講者5人。▽第3回デジカメ基本講座 7月～8月の計5回。受講者11人。▽第4回年賀状講座 10月4日から計5回。受講者6人。

【神戸の冬を支える会の初心者講習】①11月6日から計6回。受講者10人。②12月4日から計6回。受講者12人。③2月5日から計6回。受講者8人。

【人材支援センター主催 デジカメ講座】3月5日、12日。受講者15人。

### 〈わ〉会員増え1300人突破

グループ〈わ〉の会員が初めて1300人を突破、3月末で1308人になりました。17期だけでも150人が入会。コース別では音文が卒業生40人中28人が加入してくれました。新しいサークルのメンバーが全員加入したほか、ボランティア活動への関心が高まったせいではないか、と分析しています。

今年度も東北支援を継続し、福祉振興協会や各サークル、区会と協力して各種のイベント、学校支援などを幅広く展開します。卒業後の人生をより豊かにするために、〈わ〉の仲間に加わって活躍しませんか。年会費は1人1500円です。問い合わせは〈わ〉事務局（743-8101）へ。

#### ●学園祭から寄付3万円

第18回学園祭実行委員会（委員長・築山義俊、長田哲子）から「グループ〈わ〉の活動資金にを使って」とバザー売上金の一部3万円の寄付がありました。東北支援活動などに使わせていただきます。

#### ●一ノ谷の利用者は横ばい

グループ〈わ〉が運営している一ノ谷プラザ（須磨区）の24年度利用者は2月末現在14,255人、稼働率は34.2%でした。23年度と比べ、入場者・稼働率ともほぼ横ばいです。夜間の開館日を減らしたため効率が上がり、利用料収入が少し増えました。

●ヘルプ 滝谷ホーム（長田区）で、夜間、入寮者のお手伝いを募集中。月・火・水は20時～9時。土は17時～9時。交代制で1人月1～2回担当。1回6800円～8000円の手当てがあります。問い合わせは堀内昭（食6）TEL592-9297まで。（61号で電話番号が違っており再掲載しました）

●63号（7月号）の発行は2013年7月上旬です。

〈わ〉のメールアドレス=わ本部 group\_wa@wa-net.jp

## つふやき

### さあやろうボラ活動

人が動く4月は、ボランティアを始めるいい機会です。最近、読んだ本で次のような一節に出合い共感したので紹介しましょう。

〔第三の人生を豊かにするものとして、ボランティア活動があります。アメリカに興味深い調査があります。2,700人の男性高齢者について、ボランティア活動をしている人と全くしていない人に分けて10年間追跡調査をしたところ、ボランティア活動をしている人の方が、長生きするという結果がはっきり出ました。していない人の死亡率は3倍半も高かったということです。〕

確かにボランティア活動は、活動する人自身の幸福感にもつながっています。無償で他者のために働くボランティア精神は、それをする人に生き甲斐を実感させ、生きる喜びを味あわせてくれます。その結果、本人の健康にも良い影響が出てくるのでしょうか。〕

知人や後輩に声掛けをして、ボランティアの輪を広げませんか。

徳増芳男（生13・西区会）

## 編集後記



★私たちの東北支援活動に対し、厚労大臣から感謝状が届きました。会員・卒業生・在校生らオールKSCの協力があったればこそ、です。これを励みに3年目の支援に取り組みます。第4次チームの活動は、仙台の生涯学習施設・豊齢学園と合同でやろうと準備中です。

★カレッジ20周年。桜の植樹・記念碑・記念誌・音楽会・震災シンポジウム…。楽しいプランが進行中ですが、学園祭とドッキングしてにぎやかな記念ウィークになりそうです。グループ〈わ〉の新入会員も好調で、高齢化が進む中での朗報。〈新鮮力〉への期待は大、といったところです。

★厳冬一転、開花が急に早まって表紙を村の桜で飾ることができました。4月初め発行という本誌の制約から、これまで実現しませんでした。チャンス到来。やっと編集者の思いが叶えられました。歩けば梅・杏・木蓮・辛夷・桜桃。天を仰げば花粉・黄砂・PM2.5…。悩ましい春本番です。（広報・南形徹）

ぎやらりーわ wa\_gallery@wa-net.jp



## グループ わ 4～6月のイベント

開催日時・場所	テーマ・内容と協力グループ	連絡先
4月29日(月) 10時00分～12時30分 しあわせの村 自然歩道	<b>バードウォッチング</b> 新緑のしあわせの村を歩きながら、野鳥との出会いを楽しもう。 協力：野鳥と自然観察会	078-743-8092 こうべ市民福祉 振興協会
5月3日(金)～5月6日(月) 10時00分～15時00分 神戸市水の科学博物館	<b>和(わ)で遊ぼう ～昔あそび開催～</b> こま回し、紙トンボ、あやとりなど、昔ながらの遊びを体験しよう。 協力：むかしあそび研究会	078-351-4488 神戸市 水の科学博物館
5月5日(日) 10時00分～15時00分 しあわせの村 芝生広場	<b>わいわいストリート</b> 昔あそび・動物風船・木工工作・ケナフの紙すき・サッカーボールスピード測定を楽しもう。 協力：うらしまたろう、ケナフの会、むかしあそび研究会、木工クラブ他	078-743-8092 こうべ市民福祉 振興協会
6月3日(月) 10時00分～14時00分 鈴蘭台駅から菊水山	<b>新緑の森林浴ウォーキング</b> 鳥原水源地の回遊路、神戸の街一望の菊水山や石井ダムを見ながらのんびり歩きましょう。 協力：森の仲間	078-743-8101 グループ わ

## 7月以降のイベント

開催日時	場 所	イベント
7月27日(土) 15時30分～	しあわせの村 芝生広場	しあわせの村まつり
8月3日(土)～4日(日) 10時～	しあわせの村 研修館	夏休み昆虫採集と標本づくり
8月4日(日) 13時～	KSC カレッジホール	かえっこバザール
8月13日(火)～18日(日)10時～	神戸市水の科学博物館	和(わ)で遊ぼう ～身近な材料で工作～
8月18日(日) 10時～	しあわせの村 本館	夏休み工作塾

### おからクッキーにチャレンジ

「おいしい！初めて食べたけど、びっくり」――あちこちで子供たちの歓声がわきます。2月2日、西区竹の台児童館でエコクッキング講座が開かれ、1～5年生25人が“おからクッキー”に挑戦しました。先生役は銀の匙（辻郁子代表：食5）のメンバー6人。粉におからを混ぜ込むのがミソで、先生の指示でこねたり、砂糖を混ぜたり。形はハートやドラえもんなど自由に考えます。1時間半ほどで香ばしい手づくりクッキーのできあがり。試食タイムの後は、「お母さんにあげる」「私はおばちゃんにも」と、お土産に持って帰りました。心温まる体験学習となったようです。辻さん



は「子供たちがたいそう喜んでくれたので、これからもやってみたいですね」と話していました。（広報・井口久美子）

### 北区会が防災研修会

北区会（土井昭政会長）は3月20日、春の研修会を防災未来センター（灘区）で開き8人が参加しました。最近、南海トラフ巨大地震に関連する展示スペースが設けられ、参考情報が視聴できるようになっています。圧巻は東日本大地震を3D映像で紹介するコーナー。町が、漁港が次々に破壊される大津波の恐ろしさに息をのんで見つめました。近くにあるJAICAも見学、昼食をとって散会しました。

●区会・部会長交代替 25年度の中央区会長は久保正志さん（国14）、垂水区会長は板野武一さん（生16）に、いさかい部会長は丸草佑次さん（生14）、環境部会長は上田市夫さん（生10）に決まりました。





### かわいいマユ

木々を守る小さなお守り袋のように、枝にぶら下がっているウスタビガのマユ（花実の森にて・菅田忠志さん採取）。きれいな黄緑色で大きさは3cmほど。11月には羽化して飛び立ち、冬のマユの中身は空っぽです。



### 梅匂う

花山梅林（北区）では約700本の梅が満開。かぐわしい香りに包まれています（写真㊸）。花



### 珍鳥150羽飛来

ブドウ色の美しい渡り鳥「ヒレンジャク」（体長約17cm）約150羽が1月中旬、しあわせの村に飛来しました。村で観察されたのは初めてとのことで、野鳥観察会の堀池邦康さんが1月20日、堂坊池付近で見事にキャッチしました（写真㊹）。

山小の子供たちが卒業記念に植樹を重ねて7年。今年も3月7日に6年生75人が40本の苗を植えました。お手伝いは梅林会（代表・塚本桂三）の14人。急斜面なので穴を掘ったり、苗を運んだりする準備も大変です（写真㊺）。20日には北区会が観梅の宴を開きましたが、途中で雨が降り出し残念な日になってしまいました。

（取材・徳原尚世）

## トピックス

### わかるかな？モニュメント

カレッジに向かう坂の入り口付近に素敵なモニュメントが登場。美工17期のモニュメントの会（7人）の卒業制作です。カレッジ入口が分かりにくいので、何か目印になるものを、と図面の作成から陶板作りまで、4か月かけて仕上げました。市花のアジサイの周りに区の花をあしらった、高さ1.3m、横1.1mの作品。「思い通りにできたが、もう少し大きい方がよかったかな」と代表の米谷昭さん。（木村成男撮影）



名門「パリ管弦楽団」の首席奏者たちが贈る、優雅で華麗な伝統のフレンチ・ブラス!

# パリ管弦楽団ブラス・クインテット

5月12日(日)

15:00 開演 (14:30 開場)

全席指定 一般 5,500円  
大学生 4,500円  
小中高生 2,000円  
神戸文化ホール友の会 4,950円

神戸文化ホール 申ホール

交通: 地下鉄大倉山駅下車すぐ、JR神戸駅北へ徒歩10分



【予定曲目】J.S.バッハ: コラール  
/フォーレ: パヴァーヌ  
/コスマ: 金管五重奏曲「短編集」  
/ビゼー: オペラ「カルメン」から

### 割引優待

この広告を、神戸文化ホール1階プレイガイド窓口へご持参頂きますと、本公演チケットを1枚4,950円（おひとり4枚迄）でご購入いただけます。ただし、その他の優待証とは併用できません。

【お問い合わせ】神戸文化ホールプレイガイド TEL078-351-3349